まちみらい地域ミーティングでの主なご意見に対する各課の取組状況等【テーマ：若者・子育て】（令和8年11月25日現在）

No.	分類	主なご意見	取組状況等
1	人口減少と糸魚川の将来への不安	出生数や子どもの数が減り、人口減少が進むことへの不安や、地域の将来が心配である。人口減少への対応や、人口が減っても安心して暮らし続けられる地域づくりを進めてほしい。	【企画課】 背景にある出生数、雇用、賃金の課題に対応し、関係人口の拡大により、地域の経済循環につながる取組を進めます。そのために、市民や地域との協働により糸魚川の魅力や資源を活用して、生産年齢世代に関心を持ってもらえるような施策を展開していきます。
2	若者が希望を持って働ける環境	若者が糸魚川に残る・戻るため、選べる仕事や能力を生かせる職場、生活できる賃金が必要だと思う。企業誘致や新たな産業づくり、地域資源を生かした雇用づくりを進めてほしい。特に若い女性については、職業選択の幅を広げ、男性優位の意識や職場のハラスメントを見直すなど、性別にかかわらず希望する働き方ができる環境を整えてほしい。	【産業労働課】 糸魚川市内の雇用者報酬は、県内でも安定して上位の方であり、新規学卒者（高校卒）の初任給も県平均以上であり、産業は安定している状況です。一方で、労働力不足は深刻な状況で、新規学卒者の有効求人倍率は、4倍程度で推移しています。これらの状況を踏まえて、市としては既存企業の魅力アップや多様な働き方の推進、糸魚川に無い新たな仕事や働き方の誘致など、若者が糸魚川に残りたくなるような取組を進めています。また、アンコンシャスバイアス※の払拭や軽減は、地域全体の課題であり、引き続き市民一人ひとりが取組を進める必要があります。（※…アンコンシャスバイアス：自分自身が気付いていない、無意識の思い込みや偏見） 【総務課】 糸魚川市人権教育・啓発推進計画、いといがわ男女共同参画プランに基づき、全ての人の人権が尊重され、個性と能力を発揮できる社会を目指した様々な取組を推進します。
3	若者・子育て世代のUターン・移住・定住	進学などで市外に出た若者が糸魚川に戻り、また市外から若者や子育て世代が移り住み、暮らし続けたいと思えるまちにしてほしい。Uターンや移住・定住につながる取組を進めてほしい。	【産業労働課】 Uターンや移住施策は、時代に合ったものに見直しを行い、取組を進めていきます。 また、今後の人口減少社会においては、定住者だけではない新たな関係人口や活動人口の関わり方が重要になりますので、取組を推進していきます。 【企画課】 関係人口や活動人口の創出に取り組み、移住・定住先や関わりを持ちたい地域として選ばれる、魅力あるまちづくりを進めていきます。
4	地域の自然・産業・文化に触れる体験機会	子どもが自然や農業・漁業、地域の歴史、祭りや行事に触れる体験学習を増やしてほしい。地域の魅力や文化を知り、参加する機会を大切にしてほしい。こうした体験が郷土への愛着を育み、将来のUターンや定住につながると思う。	【文化スポーツ課】 文化スポーツ課では、学校への出前講座でヒスイや地域の歴史について学習いただいているほか、勾玉づくりなどの体験学習、地域の歴史を題材とした展示や講座を行っています。また、ホームページやSNSにより、文化財や伝統行事などの情報発信を行っています。
5	子育て世帯の経済的負担の軽減	給食費の無償化など、子育てにかかる経済的負担を軽くしてほしい。保育の受け皿を増やすことと、保護者への経済支援のどちらが必要かも含め、子育て世帯の実情に沿って検討してほしい。	【こども家庭課】 令和8年度は、物価高騰等による家計負担を軽減するため、子育て世帯応援手当を支給します。また、保育所等の給食費については、食材費の高騰や保護者負担の状況を踏まえ、今後のあり方を検討しています。 引き続き、子育て世帯の経済的負担の軽減と、安心して子どもを預けられる保育環境の確保の両面から、必要な支援を検討していきます。
6	保育・預かりと子どもの居場所	共働き世帯が利用しやすい保育・預かりの場を確保してほしい。夏休みや土日の預かりなど、休業期間の不安に対応するとともに、能生児童館など身近な子どもの居場所を残してほしい。	【こども家庭課】 保育所等における延長保育や一時預かり、放課後児童クラブ等により、保護者の就労状況や家庭のニーズに応じた保育・預かりの場を確保しています。 一方、少子化や保育士不足などを踏まえ、保育の質と安定的な受入体制を維持するため、保育施設の適正配置や民営化を段階的に進めるとともに、保護者の送迎負担を軽減するための支援策についても検討しています。 また、子どもの遊びや親子の交流の場として、新たな屋内遊戯場や駅北遊び広場の整備を進めています。 今後も、既存施設の役割や地域の実情を踏まえながら、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりに取り組んでいきます。

No.	分類	主なご意見	取組状況等
7	地域で支える子育てと家庭・学校への支援	子育てを保護者だけに背負わせず、地域の見守りや声かけ、多世代交流、ボランティアなどを通じて支えてほしい。保護者会やPTAの担い手不足も踏まえ、保護者が学んだり相談したりできる機会や、地域の人材が教員を支える仕組みを設けるなど、家庭や学校に負担が偏らない地域での支援を検討してほしい。	【こども家庭課】 子育て支援センターや保育所・幼稚園等において、保護者の相談対応や子育てに関する情報提供、親子の交流機会の充実などに取り組んでいます。 また、子どもの育ちを家庭や園・学校だけでなく、地域全体で支えることが重要であると考えており、地域の人々との交流や多様な体験を通じて、子どもが地域への愛着を育む機会を大切にしています。 今後も、地区公民館などの地域資源や人材を生かした子どもの遊び・交流・学びの機会づくりについて、関係部署と連携しながら取り組んでいきます。 【学校教育課】 学校運営協議会（コミュニティスクール）において、地域や学校の実情に合わせた協力や支援体制の協議を進めます。 【地域協働課】 各公民館では学校教育を離れた社会教育の場として地区ごとに青少年活動や親子事業を開催しており、勉強や体験活動、伝統文化継承活動などを開催しています。 また、市内公民館は放課後に子どもたちの居場所として施設を開放しているほか、公民館と地域づくり協議会等で協働して通学見守りなどを行っている地域もあります。 各公民館では若い世代の意見を常に求めています。良い事業計画などがありましたらお近くの公民館にご相談ください。
8	高校再編後の教育環境と多様な学び	高校の統合後に教育の質が低下しないか心配。市内で受けられる教育の充実に加え、市外高校への通学手段や通信制を含む多様な学びの機会を確保してほしい。	【こども家庭課】 現在、高校魅力化及び産学官連携を目的とした職員を配置し、地域・企業と連携した探究学習や進学・就職につながる支援等を実施しています。また、通学定期券購入支援（地域協働課）も行っており、学びの選択肢を広げることで、将来を担う多様な人材育成に努めています。
9	小中学校再編と通学・施設環境	小中学校の統合や小中一貫を検討する際は、学校数だけでなく、通学距離や交通手段、校舎の新設・改修、地域への影響も具体的に示してほしい。スクールバスなどこどもの通学環境に配慮してほしい。	【学校教育課】 学校再編を進めるに当たり、子どもたちが安心して学び、成長できる教育環境を整えることとしています。通学距離や交通手段、校舎の整備内容、地域への影響についても、今後の検討において考慮します。通学に当たっては、安全面や遠距離通学への配慮を行い、必要な対応を検討します。
10	教育の充実と安心して学べる学校づくり	糸魚川の教育の良さや、高校の探究学習などは評価できる。子どもが学びたいと思える教育をさらに充実させてほしい。いじめへの共通理解や人権を大切にし、子ども一人ひとりに寄り添って、安心して学べる学校づくりを進めてほしい。	【学校教育課】 子どもたちが安心して学び過ごせる学校や居場所づくりに努めます。地域の人や物、ことを大切に思う豊かな心情を育むため、0歳から18歳までの子ども一貫教育において、学校・家庭・地域が各発達年齢に合わせた教育を進めていきます。
11	不登校・引きこもりの子どもや若者への支援と官民連携	不登校や引きこもりの子ども・若者に対し、福祉制度の案内だけにとどまらず、本人や家族に寄り添い、学校・市・民間が連携して支援してほしい。就労を希望する若者が相談でき、本人に合った働き方や仕事につながるよう、相談先や民間事業者との連携方法を分かりやすくしてほしい。	【学校教育課】 不登校や引きこもりの児童生徒への支援を、学校や市、地域、民間が協力して取り組んでいきます。就労を希望する若者が相談できる体制を関係課で検討してまいります。
12	子ども・若者の遊びとスポーツの場	子どもや若者が遊びやスポーツを楽しめる場所が少ない。スケートボードなど、若者がやりたい活動に取り組める公共の場所や施設をつくってほしい。	【文化スポーツ課】 市内各所にスポーツ施設（体育館やグラウンド）のほか、学校施設も開放しており、利用状況は、一部の施設を除き十分空きがある状況です。スケートボード等のスポーツ施設の整備については、利用者ニーズや安全対策、周辺への影響、維持管理費等を総合的に把握し検討していく必要があります。

No.	分類	主なご意見	取組状況等
13	子どもの水泳学習と安全	学校での水泳学習が減り、泳げない子どもが増えるのではないか。海や川が身近な地域だからこそ、子どもが水泳を学ぶ機会を確保してほしい。	【学校教育課】 幼児教育における水遊びから小学校の水泳へのつながりを重視した学習を進めます。また、学校プールだけでなく室内プール等の活用により、季節を問わず水泳授業ができる体制を整えます。
14	子ども・若者と地域のつながり	子どもや若者が地域の大人と関わり、地域の一員として参加できる機会をつくってほしい。地域の人とつながり、尊敬できる大人に出会うことを通じて、子どもを地域全体で見守り、育てる環境を整えてほしい。	【地域協働課】 規模や内容はさまざまですが、各地域では地域づくり活動や公民館行事が行われています。また、若者にとって消防団活動も、地域を支え、人とのつながりを育むコミュニティづくりの一つです。まずは地域の活動に関心を持っていただき、ぜひ積極的にご参加ください。
15	若者の出会い・婚活支援	若者の出会いの場を設けるなど、結婚を希望する人への婚活支援を充実してほしい。また、市内だけでなく、若い女性の移住も含め、出会いや定住につながる取組を検討してほしい。	【産業労働課】 出会いや結婚を望む方に対して、出会いイベントへの参加支援、結婚マッチングシステムへの登録補助などを実施しています。 個人の価値観やライフスタイルの多様性が尊重される時代であり、多様な主体が活躍できる取組を進めます。
16	子どもの食育	子どもの育ちを考える上で、食育も重視してほしい。 自然栽培の魅力を実感しており、無農薬栽培などについても知る機会を持ってほしい。	【こども家庭課】 早寝早起きおいしい朝ごはんの推進とともに、妊娠期から年代に応じた食育事業を実施しています。 保育所・幼稚園等では、日々の給食や食に関する活動を通じ、食べることへの関心や、食べ物を大切にする気持ちを育む食育を推進しています。 小中学校給食では農林水産課等と連携し、地元の食材使用や郷土愛醸成につながるジオ給食や、命の大切さを伝えるジビエ給食を定期的に提供しています。 無農薬栽培に関係した食育は今後研究したいと考えています。
17	雪道の除雪と子どもの安全	雪道が子どもにとって危険。通学や移動の安全を確保できるよう、除雪を進めてほしい。	【都市建設課】 市では、冬期間における市道の交通を確保し、地域振興と市民生活の安定を図るため、除雪計画に基づき、消雪パイプ、流雪溝、路面流水などを活用しながら、効率的な機械除雪を実施しています。今後も、降雪状況や道路の利用状況を踏まえ、通学をはじめとする冬期間の安全な移動の確保に努めていきます。
18	子育て用品の交換	子育て用品は使用期間が短いため、不用品を気軽に次の子育て世帯へ回せる（交換できる）仕組みを充実させてほしい。	【こども家庭課】 市ホームページでは、不用品の譲渡に関する情報として「ゆずります・もらってください」のコーナーを設けています。 また、地域のボランティア等による子どもの学用品などの譲渡・交換活動も行われていることから、こうした既存の仕組みや地域の活動について、子育て世帯への情報提供に努めていきます。 今後も、子育て家庭の負担軽減や資源の有効活用の観点から、利用しやすい情報発信のあり方を検討していきます。